

1 大竹 道茂

とうきょうと あましまし
東京都 昭島市

農林漁業・農村文化体験 食育・教育

江戸東京野菜には物語がある

活動の経緯

J A東京中央会で勤務していた時に伝統野菜の復活に取り組むことになったきっかけは1980年代後半に全国各地の農業改良普及所などから伝統野菜の栽培が激減していることを知らされたためである。そのため、普及活動を始め、都内各地で消えつつある種を見つけては生産農家へ渡して栽培を復活してもらう活動をはじめた。

活動の概要

東京での伝統野菜の種を絶やさないために関係団体と協力しながら生産現場の見学や生産者との意見交換のできるツアーを実施。書籍の発行やイベント等での普及活動を行っている。



江戸東京野菜推進協議会での認定



小学校での地域の伝統野菜について講義

活動の成果、主な実績等

ブログを開設し、毎日欠かさず東京の伝統野菜に関する情報の発信を続け、各メディアでも取り上げられ、TVや新聞・雑誌などでのコラムの執筆も多く、その積み重ねの結果として「江戸東京野菜物語」を上梓した。

江戸東京野菜の発祥地である地区の小学校での教育活動を続けており、7校において授業を定期的に行っている。また、墨田区においては街おこしとしての寺島ナス普及活動に協力。J A東京中央会とともに江戸東京野菜の発掘普及を行い、品目の登録により販売のための差別化に努力してきた。

小金井にあった江戸東京野菜の栽培グループをきちんと組織化し、普及推進のためコンシェルジュ育成講座を開催し、180人を超えるコンシェルジュが活躍する。その間に組織を特定非営利活動団体として立ち上げ更なる活動のベースとしている。

登録された江戸東京野菜は50品目、野菜でないものが7品目となり、これらは氏の努力により復活・再発見されたものも多い。